※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	Advanced English	2	3 年	Speaking for Speeches 2nd Edition 1 Student Book with QR Code

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語を使って「相手に伝える」ことを目標に練習します。
・英語を話す機会、発表する機会、書く機会が多くあり英語の実技練習をする授業です。
・英語で上手く話すことよりも「積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとする態度」が重視されます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 3 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	様々な内容の英文をゆっくりはっきりと話されれば自分に必要な情報を聞き取ることができる。	まとまりのある英文を一定時間内に読み各段落のトピック、例示、詳細などを抑えながら全体の概要を理解することができる。	自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。	視覚的補助を利用しながら、身近な話題についてスピーチをすることができる。	身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章でかくことができる。 身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点や内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	査を実施する。 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと、による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているか	考査を実施する。 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。	小テスト、パフォーマンス、面接テスト授業態度、提出物を実施する。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Unit 1 Unit 2 Unit 4	聞くこと	a: 相手の情報を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手と意見の交換をすることができる b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c:　自分の意見や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物 考査
	中間考査			
	Unit 5 Unit 6	聞くこと	a: 相手の趣味について英語を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手の発言に対して質問をすることができる。 b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c: 根拠を示して説明することができる	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物 考査
	期末考査			
2	Unit 7 Unit 8 Unit 9	聞くこと	a　紹介されるエピソードを聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手と意見の交換をすることができる b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c: 自分の体験や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物 考査
	中間考査			
	Unit 10 Unit 11	聞くこと	a: 相手の情報を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手と意見の交換をすることができる b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c:　自分の意見や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物 考査
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

3	Unit 12	聞くこと	a: ストレスについての英語を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 体調に関する英語を適切に使用できる b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c: 自分の意見や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物 考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度